



▼収穫したナシの精度計測を体験し農業の大切さなどについて学ぶ甲佐中生徒



甲佐中生徒が農業体験学習

甲佐町産業後継者育成対策協議会

8月21日(木)～22日(金) 甲佐町産業後継者育成対策協議会(本田新会長)が、甲佐中学校(加藤敬之校長257人)1年生を対象とした農業体験学習を開催しました。研修や体験を通して、子どもたちに農業の大切さや収穫の喜びなどを感じてもらおうことを目的に毎年開催。今年は20人が参加しました。

第1日は、熊本市の県立熊本農業高校で各施設や農場などを見学し、合志市の県立農業大学校でナシの収穫や精度計測の体験。同市のJA熊本教育センターでは、食の大切さや食を取り巻く問題などの研修を受講。第2日は、西原村の「阿蘇ミルク牧場」でワインナー作りに挑戦した後、地元産の食材を使ったバイキングの昼食や動物との触れ合いを体験しました。

参加した田上凜さん(横田区)は「農業は、思っていたより大変で難しいということが分かりました。とても勉強になりました」と話しました。

宮内の豊かな自然を体感

川平キャンプ場で子どもキャンプ開催

8月26日(火)～27日(水)川平キャンプ場で、夏休み子どもキャンプ「みやうちキャンプだ!ホイ!!」が開催されました。

同キャンプは、NPO法人自然楽舎みやうちが主催するもので、子どもたちに緑川などでの自然を体験してもらうことが目的。

参加した子どもたち12人は、スタッフや地域住民などとキャンプ場周辺の川で沢登りや、カヌーや手作りのイカダで川遊びを体験して豊かな自然と触れ合い、夕食ではバーベキューを楽しみました。



▲川平キャンプ場周辺の川で沢登り体験をする子どもたち



▲地域の安全を守る活動が評価された「ドラ・パト隊」

地域の安全活動に貢献

ドラ・パト隊に県防犯協会などから表彰状

5月に開催された熊本県防犯協会連合会(荒木泰臣会長)平成26年度定時総会で、竜野地区防犯パトロール隊「ドラ・パト隊」が同協会と県警察本部から表彰されました。

同隊は、地域住民で構成される隊員が青色回転灯を取り付けて自主防犯パトロールを行う「青パト」巡回活動や、小・中学生の登校時に路地に立つての見守り活動などさまざまな取り組みを行っています。

発足して5年、現在隊員数は約274人。日ごろの犯罪の予防や青少年の健全育成など、地域の安全活動を積極的に推進したことが評価されての受賞となりました。